



キヤノンITソリューションズ株式会社

ホスティングサービスのセキュリティサービスを担う FortiGateシリーズ

キヤノンITソリューションズはホスティングサービスの拡充にあたり、ファイアウォール、アンチウイルス、IPSなどネットワークセキュリティサービスを担うためにFortiGateシリーズを採用している。FortiGateのバーチャルドメイン（VDM）機能により顧客ごとに適切なセキュリティサービスを提供するとともに、ホスティングサービスに要求される高い信頼性とパフォーマンス、費用対収益に込んでいる。



導入・構築の ポイント

- 1 VDMによる、顧客ごとに適切なセキュリティの提供
- 2 UTMによる包括的なネットワークセキュリティサービスの提供
- 3 販売店としての豊富な導入・構築実績による評価

導入製品



FortiGate-620B

中大規模企業クラスの複合脅威セキュリティソリューション。FortiASICネットワークプロセッサ（NP）とコンテンツプロセッサ（CP）という2つの技術をベースに高速なセキュリティスキャンを実現。



FortiGate-1240B

標準で40Gbps高速ファイアウォール性能を実現する複合脅威セキュリティソリューション。全40ポートのうち38ポートがハードウェア高速化ポートで、ネットワークセグメントポイント間でファイアウォールポリシーを実行し、スイッチ並みのパフォーマンスを誇る階層型セキュリティを確立可能。

システム構築から運用保守まで ワンストップで提供

キヤノンITソリューションズのデータセンターサービスは、現キヤノンMJに対するサービスを中心に展開してきた。現在は東京第1および第2データセンター、沖縄データセンターの3カ所を拠点に、ハウジングおよびホスティングサービスを提供している。

その中でもホスティングサービスは、顧客の要望に合わせてすべてカスタマイズする、専用サーバーによる「Pro」、専用サーバーと共有ネットワークを提供する「Select」、仮想サーバーと共有ネットワークによるマルチテナント型サービス「Virtual」の3種類のシリーズをそろえている。

同社のホスティングサービスの大きな特徴は、単にデータセンターで管理されたネットワーク機器やサーバーのレンタルだけでなく、ITサービスの実績をベースにシステム設計・構築から運用・保守まで含めたサービスをワンストップで顧客に提供することにある。

昨今、多くのホスティングサービスでは、ネットワーク機能の提供においてファイアウォールやアンチウイルスなどネットワークセキュリティ機能も提供することが一般化している。キヤノンITソリューションズも3種類のホスティングサービスの提供開始時からファイアウォールサービスを標準で提供する

とともに、アンチウイルスやIPS（不正侵入防御）サービスなどもオプションで提供するなど、ユーザーのセキュリティニーズに対応してきている。

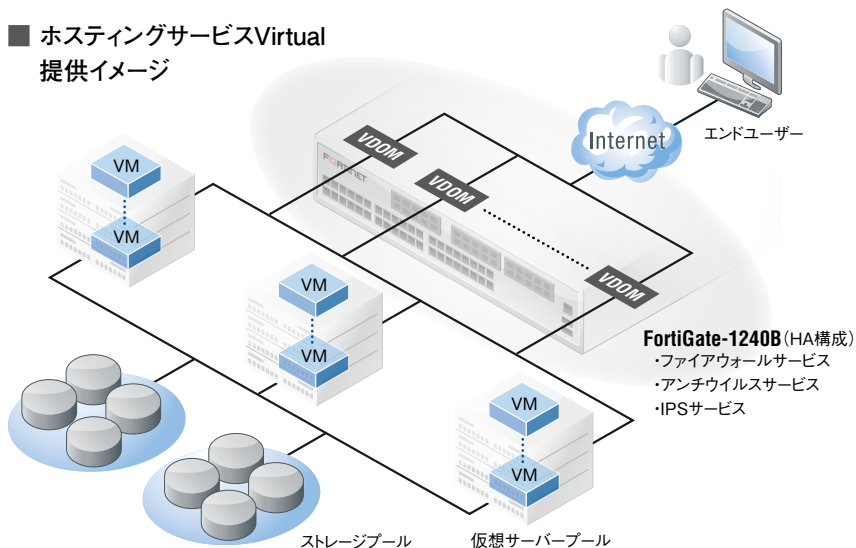
これらネットワークセキュリティサービスの提供において、採用されたのがFortiGateシリーズだ。Selectでは2009年に共有型ファイアウォールサービス向けにFortiGate-620Bを、そして2010年6月に提供開始されたVirtualではFortiGate-1240Bが導入され、共有型ファイアウォール、アンチウイルス、IPSの各機能を提供している。

VDMで顧客ごとに 適切なセキュリティを提供

ファイアウォールサービスなどを提供するにあたり、FortiGateシリーズを採用した理由を、ICTサービスセンター運用基盤サービス部IDCインフラマネジメント課課長 小林伸嘉氏は次のように述べる。

「FortiGateを選択した最大のポイントは、複数の独立したセキュリティドメインを構築するための機能であるVDM（仮想ドメイン機能）が標準装備されているので、1台のFortiGateに複数の仮想UTMを構築することが可能であること。複数のお客様、それぞれのポリシーを各VDMに割り当てることで、物理的には共有型ファイアウォールサービス

■ ホスティングサービスVirtual提供イメージ



でありながら、お客様ごとに適切なネットワークセキュリティ機能を提供できるからです。

過去に提供していたホスティングサービスでは、1台の汎用サーバーとファイアウォールソフトによって完全な共有型ファイアウォールサービスを提供していた。「長年のホスティングサービスの経験から、複数のユーザーに1つのファイアウォールを提供する形だと、ユーザー間のセキュリティが弱くなることが懸念されていました。それを回避できるのがVDOM機能だと確信していました」(小林氏)とFortiGateの採用に至った。

さらに、もう1つの大きな理由が、同社のセキュリティソリューション事業の中でFortiGateの有力販売店として、これまでに1万台以上の導入実績があり、FortiGateを高く評価するとともに、多くの構築ノウハウを有していることも選択の理由として挙げている。

顧客向け設定インターフェースの提供も計画

Virtualでは、FortiGate-1240Bによって標準でファイアウォールサービスを提供するとともに、アンチウイルスおよびIPS機能もオプションサービスとして提供を開始した。「従来は機能別にサーバーを立ててサービス提供していましたが、UTMアプライアンスで統合的にセキュリティ機能を提供できることは、障害発生ポイントの削減になるので、サービスの可用性向上にもつながります」

(小林氏)という。

今後は、顧客に対するセキュリティレポートを充実させていくために、ネットワーク/分析/レポートの総合プラットフォームであるFortiAnalyzerの導入も検討している。また、各ユーザーが各自でルールのリモート設定・変更を可能にするために、設定項目を限定したわかりやすい顧客向けユーザーインターフェースを提供していきたいと述べる。

キヤノンITソリューションズでは、2012年にキヤノンMJグループのITサービス基盤となるTier IVクラスのデータセンターの開設が計画されている。「ホスティングサービスも新データセンターに移管し、さらに拡充していく計画ですが、ホスティングサービスを通して蓄積した運用ノウハウを活かして、お客様にプライベートクラウドとして構築するようなサービス提供に仕立てていきたいと考えています」(システムマネジメント事業部ICTサービス事業企画部IDCサービス商品企画課課長 石原保志氏)と将来展望を語る。そうしたIDCサービスの中でも、FortiGateが重要なコンポーネントの1つとなることが期待される。



Virtualを提供しているデータセンター内部



キヤノンITソリューションズ株式会社
 ICTサービスセンター運用基盤サービス部
 IDCインフラマネジメント課課長
 小林 伸嘉氏



キヤノンITソリューションズ株式会社
 システムマネジメント事業本部
 システムマネジメント事業部
 ICTサービス事業企画部
 IDCサービス商品企画課課長
 石原 保志氏

User Profile



キヤノン ITソリューションズ株式会社

所在地(本社)：東京都港区三田3-11-28
 設立：1982年7月
 資本金：3,617百万円
 従業員数：3,291名

キヤノンMJグループのITサービス会社として、SIおよびコンサルティング、各種ソフトウェアの開発・販売を行うなど、あらゆる分野のトータルソリューションプロバイダーとして、顧客の価値創造に貢献するサービス提供を信条とする。

